

## 大阪府消費生活センター 1月の相談件数（速報値）

相談件数 630 件（対前月比 7.5%減、対前年同月比 0.9%減）

### 全体 上位5件

順位	相談内容	相談件数
1位	化粧品	82件
2位	健康食品	27件
3位	紳士・婦人洋服	23件
4位	修理サービス	21件
5位	賃貸アパート・マンション	19件

- ・1位の「化粧品」に関する相談のうち、美容液等の「定期購入」の相談が82件中76件でした。「お試しのつもりで注文したところ定期購入になっており、解約できない」等の相談が寄せられました。
- ・2位の「健康食品」も、27件のうち21件がダイエットサプリ等の「定期購入」の相談でした。1位の「化粧品」と合わせると「定期購入」に関する相談は97件になりました。契約当事者は50歳代が最も多く31件、60歳代が20件、70歳代が17件となり、50歳以上が7割を占め、大多数がインターネット通販によるものでした。
- ・3位の「紳士・婦人洋服」については、23件のうち17件がインターネット通販の相談でした。「前払いで代金を振り込んだが商品が届かない」「粗悪品が届いた」等の詐欺的なサイトの相談がめだちました。

### 65歳以上 上位5件

順位	相談内容	相談件数
1位	化粧品	25件
2位	健康食品	7件
3位	移动通信サービス	6件
4位	インターネット接続回線	5件
4位	修理サービス	5件

- ・「化粧品」と「健康食品」の合計件数32件のうち9割が「定期購入」で、そのほとんどがインターネット通販によるものでした。通信販売はクーリング・オフ制度がありません。「無料」や「お得」等と書かれた広告に惑わされず、申込内容をよく確認し、定期購入になっていないかを確認しましょう。